



今庄宿プロジェクト

【大好評につき「鉄道模型の館」を宿の市と同時開催】

今庄宿プロジェクト協議会では、9月18日に今庄宿プロジェクト協議会事務局(山田家)で昭和35年頃の今庄の町並みや旧北陸線(山中信号所)を走る蒸気機関車D51を再現したジオラマ展を開催しました。町内外から260名もの方にご来場いただいたため、大好評につき、10月29日(日)に開催の宿の市で再び「鉄道模型の館」をオープンすることとなりました。

このジオラマは、上新道出身の須崎英継さんが少しずつ制作し改良と進化を続けているもので、汽笛音をあげて坂道を走り上がる迫力満点のD51と古き今庄の町並みが懐かしく温かみのある模型です。また、鉄道模型の走行体験も可能で、鉄道ファンには興味いっぱいの催しです。皆さま是非お越しください。

ご来場の際は、駅前駐車場および旧今庄小学校跡地駐車場をご利用ください。

「鉄道模型の館」に関するお問合せは、今庄宿プロジェクト協議会(Tel. 45-0245)までお願いします。

宿の市クラブマーケットと同時開催

10月29日(日) 大好評につき 再び開催!

「鉄道模型の館」

開館 10:00~15:00
場所 山田家
(今庄宿駅前1丁目5番11号、今庄宿郵便局2階)

鉄道ジオラマ (須崎英継氏作)	鉄道模型の走行体験
「今庄~旧山中信号所スイッチバック」(複製30年半は壊れ再復)	1回10分100円 *事前申し込み必要・先着可

今庄の宿と北陸線、今庄宿の町並みジオラマの制作の様子

主催:今庄プロジェクト協議会企画部 TEL. 0773-01-0245
主管:アツモ今庄機関庫



“今庄宿”豆知識 その15 「若狭屋」

今庄宿には天保年間に旅籠が55軒あったと記録されています。旅籠は旅行者を宿泊させる食事付きの宿屋のことを言います。若狭屋も近世期には旅人が宿泊する宿屋の一つでした。若狭屋は今庄宿の中心に位置し、旧本陣や京藤甚五郎家などにも程近い場所に立地しています。また若狭屋の二階には三角形の特徴的な格子を付けています。四角形の格子に比べ、遠くの方まで見通すことができ、今庄の旅籠の例として大変貴重な建造物です。

現在は古民家再生としてNPO法人今庄旅籠塾の方で管理されており、今庄宿の美しい景観を守り続けています。



(平成23年7月25日に国の登録有形文化財(建造物)に登録)

問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

きとっけ今庄 今庄宿プロジェクト

検索 🔍

問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-80002

「奥の細道」より
鶯の関を過ぎて、湯尾峠を越ゆれば、燧ヶ城、帰山に初鷹を聞き、十四日の夕暮れ、敦賀の津に宿を求め。



JR湯尾駅から車で5分、湯尾神社から徒歩15分で峠に到着。気軽に登りやすく尾根の上は広く開かれており、端に立つと北に湯尾の町並みが眺められます。

際、石垣を組み道幅を広げる改修が加えられて現在の峠道になったといわれています。また、現ルートの東側には源平合戦の時代、木曾義仲が京へ攻め上がる際に切り開いたといわれる古い峠道(義仲道)も残っており、度々合戦の舞台となった場所でもあります。
頂上の高台には抱瘡(ほうそう)の神を祀る孫嫡子神社があり、4軒あった峠の茶屋では厄除けのお守り札が配付されていました。松尾芭蕉、近松門左衛門をはじめ、数々の紀行文、文芸作品にも登場していることから、湯尾峠の名は全国的に知られ渡り、大いに繁盛していたことがわかります。



湯尾峠は、八ヶ所山から東に細長く突き出た尾根の標高約200mに位置し、天正6年(1578)柴田勝家が北国街道を整備した

湯尾峠